



桜岡 健輔《霧氷の刻》 2018(平成 30)年 木版多色刷 油彩刷 B F K

栃木ゆかりの版画家 桜岡 健輔 展

2018 年

9 月 20 日(木) ▶ **11 月 25 日**(日)

【会 場】 鹿沼市立川上澄生美術館 1 階展示ホール (入場無料)

【開館時間】 9:00~17:00 (入館は 16:30 まで)

【休 館 日】 月曜日 (ただし 9/24、10/8 は開館)、
9 月 25 日 (火)、10 月 9 日 (火)

【イベント】 作家のギャラリー・トーク
9 月 30 日 (日) 14:00~15:00

◆ 作者のことば

私が版画をはじめたきっかけは、栃木県立図書館が主催した「多色刷り木版で蔵書票を作る」という講座に参加したことです。その時の講師は川上澄生先生でした。1962年、私が19歳で、宇都宮大学の学生の時です。

1965年から2003年まで38年間、金融機関に勤めました。転勤で、東京のほか札幌から鹿児島まで、8都市に住みました。その間各地で収集した郷土玩具を版画にして、勤務先の広報誌（月刊）に「郷土玩具シリーズ」として連載する機会をもちました。そのことで版画を忘れずにすみ、版画の良いトレーニングにもなりました。また、各地の気に入った風景も版画にしました。

2003年、定年後に長野県軽井沢町に転居して、近くの浅間山を主な題材にして版画を作っています。この活動もすでに15年が過ぎました。

私の版画は、シナベニヤを使う木版で、小～中判のものは水彩絵具で刷りますが、浅間山などの大判のものは油絵具を使って刷ります。季節によって、時刻によって、見る場所によって様々な姿を見せてくれる浅間山の魅力を、今後も追求してゆきたいと思っています。

◆ さくらおか けんすけ 桜岡 健輔 略歴

1943年 栃木県那須郡黒羽町（現・大田原市）に生まれる

1962年～ 木版画制作

1965年 宇都宮大学卒業 金融機関に勤務

1975～88、2004～06年「郷土玩具シリーズ」（182点）を制作

2003年 定年を機に軽井沢町に転居

2004年～ 板院展、信州版画展に出品

現在 日本板院 同人（長野支部長）、信州版画協会 会員

【主な受賞歴】

2014年 信州版画展 長野県知事賞

2017年 板院展 栃木県知事賞

【主な個展】

2005年 ラ・フォンテ宇都宮 アートギャラリー

2011年 B&B あさま ぎやらりい（軽井沢）

2014年 ぎやらりい一色（軽井沢）

◆ 出品作品リスト

no.	タイトル	制作年	技法／紙	寸法（cm）
1	虹の刻	2006（平成18）年	木版多色刷 油彩刷／BFK	53×75
2	飛天の如き	2008（平成20）年	木版多色刷 油彩刷／BFK	53×75
3	あかね色のエベレスト	2009（平成21）年	木版多色刷 油彩刷／BFK	53×75
4	夜明けのアマ・ダブラム	2009（平成21）年	木版多色刷 油彩刷／BFK	53×75
5	凜として	2010（平成22）年	木版多色刷 油彩刷／BFK	45×65
6	夜明けの刻	2012（平成24）年	木版多色刷 油彩刷／BFK	53×75
7	厳冬	2014（平成26）年	木版多色刷 油彩刷／BFK	50×75
8	夕映え	2014（平成26）年	木版多色刷 油彩刷／BFK	50×75
9	雪のあけぼの	2015（平成27）年	木版多色刷 油彩刷／BFK	50×75
10	瑠璃色の物語	2016（平成28）年	木版多色刷 油彩刷／BFK	50×75
11	夕陽	2017（平成29）年	木版多色刷 油彩刷／BFK	50×75
12	霧氷の刻	2018（平成30）年	木版多色刷 油彩刷／BFK	50×75
13	シェルピンク色の夕暮	2018（平成30）年	木版多色刷 油彩刷／BFK	53×75
14	夏の午後	2015（平成27）年	木版多色刷 水彩刷／BFK	30×45
15	待春ハケ岳	2017（平成29）年	木版多色刷 水彩刷／BFK	30×45
16	待春浅間山	2018（平成30）年	木版多色刷 油彩刷／BFK	30×45
17	信州の花 6点	2003～2013年	木版多色刷 水彩刷／和紙	13×10 ほか
18	郷土玩具 12点	1975～1988年	木版多色刷 水彩刷／和紙	13×10 ほか

※都合により出品作品を変更する場合があります。